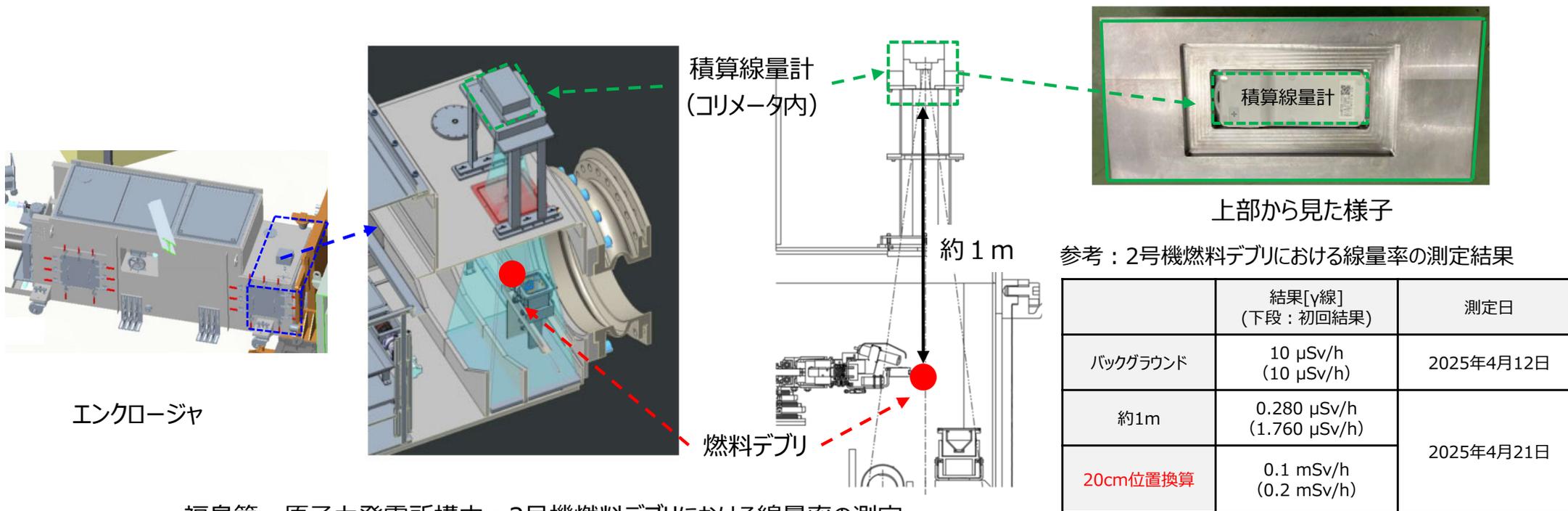


2号機燃料デブリ試験的取り出し作業（2回目）の状況について（燃料デブリ線量率測定）

- 4月18日以降、押し込みパイプおよびガイドパイプの引き抜き作業を実施し、4月20日には引き抜き作業が完了し、テレスコ式装置をエンクロージャ内に格納。（隔離弁は閉状態）
- 4月21日、燃料デブリの線量率測定を実施し、「線量率 約0.1mSv/h（20cm位置換算）」であることから回収可能と判断。（回収判断基準：線量率24mSv/h[20cm位置換算]以下）
- なお、今回の測定結果は、燃料デブリの回収可否判断のために計測したものであり、詳細分析は、JAEA輸送後に改めて実施予定。
- 明日以降、燃料デブリの運搬用ボックスへの収納および建屋内運搬容器への回収作業を実施予定。（「燃料デブリを建屋内運搬容器へ回収」＝「試験的取り出し作業の完了」）



福島第一原子力発電所構内：2号機燃料デブリにおける線量率の測定

※値は全て約